

## 第 2 章

# 計画の基本的な考え方

## 第1節 基本理念

太田市では、新しいまちづくりを計画的に進めていくため、新生太田総合計画を策定し、「人と自然にやさしい、笑顔で暮らせるまち太田」の実現を目指し、基本理念を六つに分類してまちづくりを推進しています。

そのまちづくりの基本理念の一つとして、「市民の健康づくりと地域医療の充実による安心のまちづくり」を挙げ、保健・医療・福祉の連携による健康意識の高揚を図り、乳児期から高齢期までの健康づくりの支援を積極的に推進し、保健施設、救急医療体制の充実を図ることを掲げ、総合的に取り組むものとしています。

健康づくり計画は、新生太田総合計画の理念を基に、壮年期死亡（早世）の減少、健康寿命（元気で活動的に暮らせる期間）の延伸、生活の質の維持向上を目指して、生活習慣病の予防など健康の保持増進を推進する計画です。

各世代が経験を分かち合い、お互いに支えあい、心豊かに健康に暮らし続けられるまちづくりを目指し、基本理念を以下のとおり定めます。



## 第2節 基本方針

こどもからお年寄りまで、すべての市民が健やかで心豊かに暮らせるまちづくりを目指し、以下のことを計画の基本方針にします。

### (1) 一次予防\*の重視

脳血管疾患や糖尿病などは「生活習慣病」と言われ、食生活や運動など、私たちの普段の生活習慣が、その発症に影響していると考えられています。病気に対する早期発見・早期治療の対策に加えて、積極的に健康を増進し病気の発症そのものを予防する「一次予防」に重点をおいた健康づくりを推進します。

### (2) 健康に関わる環境整備の推進

市民が主体的に取り組める健康づくり運動を推進していくには、健康づくりに取り組もうとする個人を、社会全体として支援していく環境を整備することが重要です。

行政や医療機関、関係団体、学校、企業など健康に関わる関係者が連携し、個人の健康づくりを支援していく環境整備を推進します。また、地域医療の推進を図っていきます。

### (3) 具体的目標設定による健康づくり

市民の健康づくりを効果的に推進するためには、市民をはじめ多くの関係者が健康に関しての現状や課題を共有することが重要です。これらを明らかにしたうえでより効果的に健康づくりを推進していくために、「こども若者世代」「働き盛り世代」「高齢世代」の3つのライフステージに分け、取り組む具体的目標を設定し、目標達成するための取り組みの成果を評価し、計画などの見直しを行うことにより、その後の健康づくりの施策に反映していきます。

### (4) 市民が主役の健康づくり

健康づくりの主役は市民一人ひとりです。市民自らが積極的に健康づくりに取り組めるよう、行政がいろいろな角度からバックアップします。また、市民と地域と行政が手を握り合い、それぞれの役割である「個人の役割」「地域の役割」「行政の役割」を認識して健康づくりを推進していきます。

※一次予防：生活習慣の見直し、環境改善などにより病気の発症そのものを予防すること。

二次予防：健康診査などにより、病気を早期発見、早期治療すること。

三次予防：病気や障がいの進行を防止し、機能の回復・維持を図ること。

### 第3節 計画の体系

壮年期死亡及び高齢期などの寝たきりの原因となっている脳卒中、心疾患、がん、糖尿病や、高齢期の生活の質に大きく影響を及ぼす歯周病などは、生活習慣の改善によって発症や病気の進行を予防することができると考えられています。

そこで、これらの病気や障がいに大きな影響を与える生活習慣である「食生活」「運動習慣」「休養とこころ」「生活習慣（たばこ・アルコール）」と「歯の健康」「生活習慣病（糖尿病・循環器病・メタボリックシンドローム）」「がん」を加えて、特定7分野として取り上げました。

それぞれの分野で「こども若者世代」「働き盛り世代」「高齢世代」ごとに目標を設定し、これらの目標を達成するための具体的施策や個人・地域・行政の役割を設定し、「健康おおた21」の基本理念を目指し、計画を推進します。

